

地域医療支援病院業務報告書

令和3年10月1日

山口県知事 様

郵便番号 745-8510  
 報告者 住 所 山口県周南市東山町6番28号  
 氏 名 一般社団法人 徳山医師会  
 会 長 津永 長門  
 (電話(0834)31局2350番)



下記のとおり 令和2年度の業務について、医療法第12条の2第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

名 称	地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院											
所 在 地	山口県周南市東山町6番28号											
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計	
	室 91	床 230	室 32	床 100	室	床	室	床	室	床	室 123	床 330
地 域 医 療 支 援 病 院 の 法 定 施 設	区 分		構 造 設 備 の 概 要									
	集 中 治 療 室		主な設備		別紙1		病床数		8		床	
	化 学 検 査 室		主な設備		別紙1							
	細 菌 検 査 室		主な設備		別紙1							
	病 理 検 査 室		主な設備		別紙1							
	病 理 解 剖 室		主な設備		別紙1							
	研 究 室		主な設備		別紙1							
	講 義 室		室数	室	別紙1		収容定員		人			
	図 書 室		室数	1 室			蔵書数	1200	冊			
	救急用又は患者 輸送用自動車		主な設備		ストレッチャー リフト・車椅子		保有台数		1 台			
	医薬品情報管理 室		専用室の場合		床面積		10.4 m <sup>2</sup>					
		共用室の場合								室と共用		



紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ③	地域医療支援 病院紹介率 $\frac{②}{①}$	地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{③}{①}$	
	3,220人	3,041人	3,330人	94.4%	103.4%	
	算定期間	2020年4月1日から2021年3月31日まで				
共同利用	共同利用の実績		共同利用医療機関延べ数(病床利用) 417件 令和2年度延べ入院患者数 79,409人 共同利用病床利用率 65.9% 歯科医療機関利用延べ数(歯科診察室) 31件			
	共同利用の範囲		手術室(手術用機材含む)、歯科診察室、トレッドミル、 X線TV、CT、MRI、RI、腹部エコー、 リハビリテーションセンター、心電図計、心エコー、 検査センター(血液・生化学・細菌・病理診断)、 解剖室、内視鏡(上部・下部消化管)、 開放型病床330床、マンモグラフィー			
	共同利用について 定めた規程の有無		④ ・ 無			
	利用医師等登録制 度の担当者		職種	医事課長		
			氏名	舘野 斗士郎		
	登録 医療 機関	名称	開設者の氏 名又は名称	開設者の 住所又は 所在地	主たる 診療 科目	報告者との 経営上の 関係
		別紙2				
常時共同利用可能な病床数			330床			

救急医療 の提供	重症救急 患者の受 入れに対 応した医 療従事者	職種	氏名	勤務の態様		勤務 時間	備考	
			別紙3	常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
				常勤・非常勤	専従・非専従			
			常勤・非常勤	専従・非専従				
	重症救急 患者のた めの病床	優先的に使用した病床			8床			
		専用病床			0床			
	重症救急 患者に必 要な検査 又は治療 を行った 診療施設	区	分	床面積	設備の概要	24時間使 用の可否		
		別紙4						
	重症救急患者を24時間体制で受け入れた診療科目			内科・外科				
	救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況			救急指定病院・二次病院（輪番制）				
	救急医療 の提供の 実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数			627人 (うち入院を要した患者の数 594人)			
		その他の救急患者の数			690人 (うち入院を要した患者の数 678人)			
		計			1,317人 (うち入院を要した患者の数 1,272人)			

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研修内容	別紙5					
	研修実施回数	2回					
	研修生の数	別紙5					
	研修プログラムの有無	○有 ・ 無					
	研修委員会の設置の有無	○有 ・ 無					
	研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数	
		(教育責任者)					
		山本 憲男	医師	泌尿器科	病院長	46年	
		三浦 俊郎	医師	総合診療内科	医師会理事	40年	
	鈴木 道成	医師	外科	医師会理事	32年		
(その他)							
研修を実施した施設	区分	床面積	設備の概要				
	研修室	138.9m <sup>2</sup>	机、椅子、パソコン、マイク ホワイトボード、プロジェクター				
	会議室	51m <sup>2</sup>	机、椅子、マイク				
	大講堂	452.3m <sup>2</sup>	机、椅子、マイク				
	特別教室	201m <sup>2</sup>	机、椅子、マイク				

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責 任 者	病院長 山本 憲男		
		その他の担当者	診療情報管理室長 舘野 斗士郎		
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)	保管場所	分類方法		
		事務室 カルテ庫 フィルム保管室	年度別ターミナルデジタル方式		
	病院の管理及び運営に関する諸記録	区 分			保管場所
		共 同 利 用 の 実 績			管理部事務室
		救 急 医 療 の 提 供 の 実 績			管理部事務室
地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績			管理部事務室		
閲 覧 実 績			管理部事務室		
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類			管理部事務室		
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責 任 者	病院長 山本 憲男		
		その他の担当者	診療情報管理室長 舘野 斗士郎		
	閲 覧 場 所	閲覧室			
	閲 覧 手 続	閲覧の申請受理後、規定に基づき可否を審査			
	閲 覧 件 数	医 師	0 件		
		歯 科 医 師	0 件		
		地 方 公 共 団 体	0 件		
そ の 他		12 件			
	計	12 件			
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開 催 回 数	1 回			
	委員会における議論の概要	<p>新型コロナウイルス感染症拡大及び当該患者受入れのため、開催が困難でありました。</p> <p>書面にて、共同利用の実施や救急医療の提供等について審議しております。</p> <p>感染状況が落ち着くようであれば、開催いたします。</p>			

患者相談	患者相談を行う場所		地域連携室
	主 な 担 当 者		武居徳子、大谷真理恵、田中一弘 原本直由、武中由佳里、松谷真秀子
	相 談 件 数		9,949 件
	相 談 の 概 要		別紙 6
その他の 地域医療 支援病院 に求めら れる取組	病院の機 能に関する評価	評 価 の 有 無	○ 有 ・ 無
		評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
		評 価 を 受 け た 時 期	平成 28 年 3 月
	病院の果 たしている 役割に 関する情 報発信	情 報 発 信 の 有 無	○ 有 ・ 無
		情 報 発 信 の 方 法 及 び 内 容	徳山医師会病院だより ホームページ
	退院調整	退 院 調 整 部 門 の 有 無	○ 有 ・ 無
		退 院 調 整 の 概 要	退院へ向けての計画立案。退院先 との交渉。各種サービスの紹介・ 調整。
	地 域 連 携 の 促 進	地 域 連 携 クリティカルパス の策定の有無	○ 有 ・ 無
		地 域 連 携 クリティカルパス の種類及び内容	脳卒中・大腿骨頸部骨折
地 域 連 携 クリティカルパス を普及させるための取組の 概要		周南 2 次医療圏の病院による 合同会議(地域連携クリニカ ルパス検討委員会等)	

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあっては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 とする。